

## 連携中枢都市圏連絡会議について

### 1. 会議の概要

#### (目的)

連携中枢都市圏構想について、構想の取組みをより一層深化させるべく、各連携中枢都市の職員を対象として、各圏域の先進事例や取組状況の共有、意見交換等を行う目的で毎年開催するもの。

#### (主催者)

総務省／開催地として希望する連携中枢都市

#### (内容)

先進事例等を学ぶ座学・グループ討議、取組情報の情報共有、現地視察 等

### 2. 令和4年度開催概要

- 日 時：令和4年11月1日、2日
- 場 所：盛岡市内
- 参加者：29都市（全国で37圏域）
- 内 容（グループディスカッション等）

#### (1) 圏域で新たな連携施策を生み出す仕掛け・工夫について

- ・庁内職員研修により、連携中枢都市圏に関する制度説明・周知
- ・他圏域の連携事業の中から参考事業をピックアップし、各市町村と連携協議
- ・DXについて連携市町村と勉強会の実施
- ・連携市町村からも自分ごととして考えてもらうことが重要

#### (2) 連携施策についてどのようにPDCAサイクルを回しているか

- ・議会に進捗報告資料を毎年提出
- ・ビジョン懇談会にてKPIを報告し、意見を頂いている など

#### (3) 国（総務省）からの発言

- ・優良事例を各圏域が参考にできるように情報収集・発信していく
- ・デジタル分野はコストがかかるので圏域で取り組むのに適しているのはいか
- ・KPIの設定は難しいと考えており、国として、KPI設定に関し参考となる資料があれば今後共有する
- ・KPIが重要ということではなくあくまで事業を円滑に進めていくことが大切
- ・国として連携中枢都市圏構想のさらなる発展を考えており、取組みの対外的なPRが必要と考えている など